

製缶作業で失敗しないための確認ポイント

仮止め前と仮止め後の確認で、手直しを防ぐ！

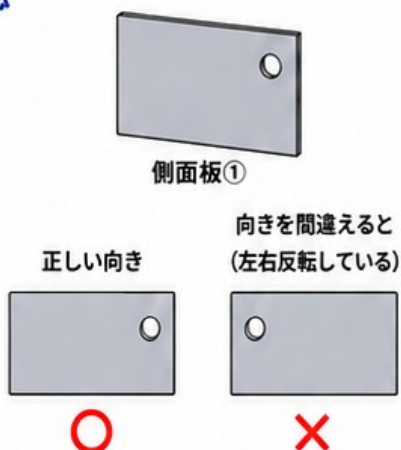
1 向き・勝手確認

なぜやるのか

部材の向き違いによる
組み間違いを防ぐため

重要点

- ・図面と現物を照合する
- ・穴の向きや位置を確認する
- ・仮止め前に必ず確認する



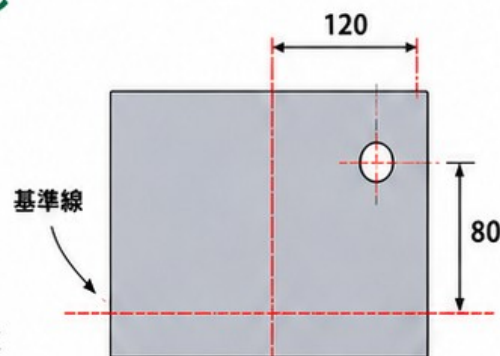
2 基準出し

なぜやるのか

すべての寸法の
基準になるため

重要点

- ・基準線を引く
- ・基準から寸法を野暮く
- ・感覚で野暮かない



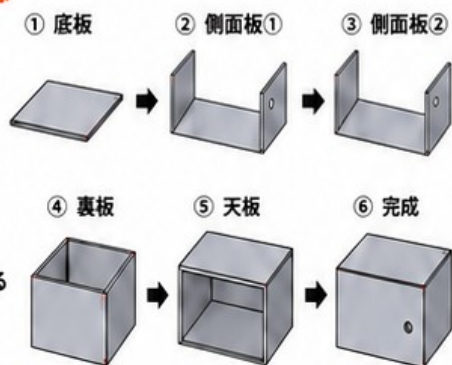
3 組立順序確認

なぜやるのか

組立不能や
溶接不能を防ぐため

重要点

- ・完成形をイメージする
- ・後工程を考慮した順序にする
- ・溶接のしやすさも考える



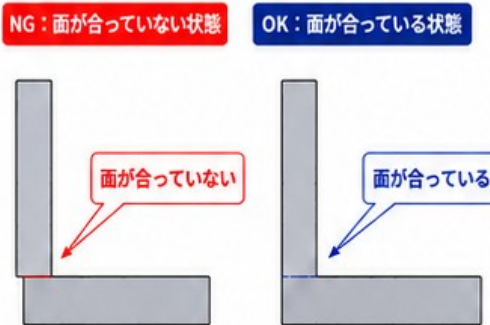
4 組立位置合わせ

なぜやるのか

面のズレや隙間をなくし、
図面通りの形状に
組み立てるため

重要点

- ・面を合わせる
- ・隙間をなくす
- ・部材の位置を合わせる



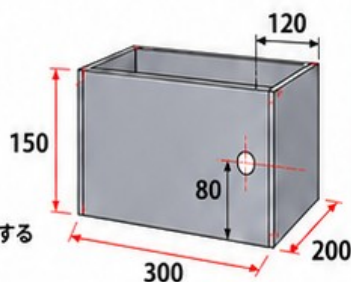
5 寸法・穴位置確認 (仮止め前)

なぜやるのか

仮止め前にミス
を潰すため

重要点

- ・寸法を確認する
- ・穴位置・寸法を確認する
- ・図面と照合する



確認項目

- ・全体寸法
- ・穴位置寸法
- ・図面との照合

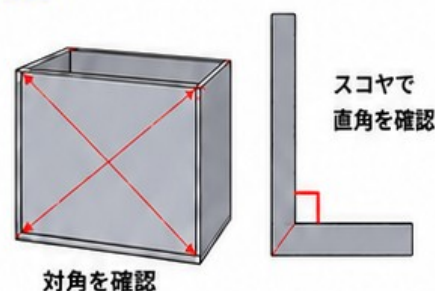
6 対角・直角確認

なぜやるのか

ねじれや寸法ズレを
防ぐため

重要点

- ・対角寸法を確認する
- ・スコヤで直角を確認する
- ・目視だけで判断しない



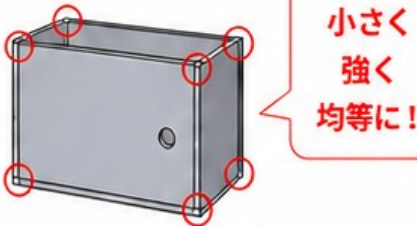
7 仮止め溶接

なぜやるのか

部材を固定し、
本溶接時のズレを
防ぐため

重要点

- ・小さく、強く、均等に
- ・本溶接の邪魔にならない
- ・部材が動かないことを確認



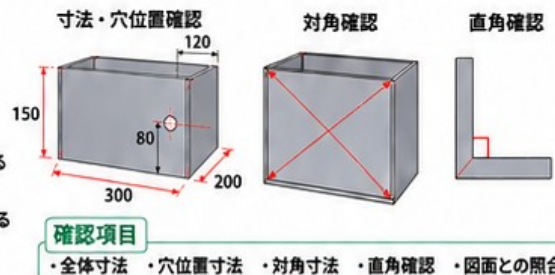
8 寸法・穴位置・対角・直角確認 (仮止め後)

なぜやるのか

本溶接前に最後の
ミスを潰すため

重要点

- ・寸法・穴位置を確認する
- ・対角寸法を確認する
- ・スコヤで直角を確認する
- ・図面と照合する



確認項目

- ・全体寸法
- ・穴位置寸法
- ・対角寸法
- ・直角確認
- ・図面との照合

★ 製缶作業で最も重要なのは「仮止め前確認」と「仮止め後確認」！

仮止め前確認

確認する

組立・仮止め

小さく、強く、均等に
仮止める

仮止め後確認

もう一度確認する

- ✓ 手直しの多くは確認不足から発生する。
- ✓ 確認を徹底することで品質と効率につながる。
- ✓ 製缶作業は、ミスを潰しながら組み立てる作業である。

確認は手戻りをなくし、品質と信頼をつくる第一歩！